

校長先生から、2種類のことわざが紹介されました。

1. 始め良ければ全てよし。終わり良ければ全てよし。
2. 千里の道も一歩から。百里の道は九十里が半ば（意味：100里の距離を歩き通そうと思ったら、90里まで来たところで、やっと半分だ。何事も全うするには、最後の最後に気を緩めないことが大切。）

これらのことわざは、意味は反対であるが、その時々節目、つまり「人生の節目を大切にしてほしい」ということである。あることの終わりは、次の始まりとなる。特に3年生は高校生活の終わりは、あたらしい生活が始まる。3学期という節目を大切にしてほしい。



生徒会長から、全校生徒に「目標に向かって一緒に頑張りましょう。」という呼びかけがありました。

